

未来志創

よし! 廣晴ろう!

昨日も、終学活前に多くの方が配りものや机の移動を手伝ってくれました。ありがとうございました。
今日は以前一度紹介した「成功曲線」に関する話です。ちょっとした実験なので、ぜひ家に帰ってからやってみてくださいね。

まずは1枚の新聞紙を半分に折ってください。そして、その新聞紙をもう一度半分に折ってください。さらにその新聞紙を半分に折ってください。そろそろ、面倒だなど思っている人はいませんか? あきらめないでください! さらにもう一度、半分に折ってみてください。これを何度か繰り返し、これ以上折れないというところまで、根気強く続けてみてください。さて、何回くらい折ることができましたか? 大体、6~8回というところではないでしょうか?

ではここで質問です。何回この作業を繰り返せば、富士山の高さ(3776m)になるのでしょうか? もちろん、物理的にはそんなことできるはずがありません。気が遠くなるほどの作業を想像した人が多いと思います。しかし、実際にはたったの26回で富士山の高さを超えることができます。

5回	3.2mm	16回	6553.6mm
6回	6.4mm	17回	13107.2mm
7回	12.8mm	18回	26214.4mm
8回	25.6mm	19回	52428.8mm
9回	51.2mm	20回	104857.6mm
10回	102.4mm	21回	209715.2mm
11回	204.8mm	22回	419430.4mm
12回	409.6mm	23回	838860.8mm
13回	819.2mm	24回	1677721.6mm
14回	1638.4mm	25回	3355443.2mm
15回	3276.8mm	26回	6710886.4mm

できるのです。キツネにつままれたような話ですよ。どういうことか説明します。ここからは少し数学的な話になります。仮に1枚の新聞紙の厚さを分かり易いように0.1mmとして計算します。1回折ると0.2mm、2回折るとその倍の0.4mm、3回目で0.8mm、4回目で1.6mmになります。以下、倍々に増えていくと考えると、右の表のようになります。つまり、26回目で富士山の高さを超えるのです。人の話をあまり信用しない人はせいぜい15回くらいであきらめてしまいます。しかし、「成功曲線の法則」を知っている人は、この後、本領を発揮するのです。20回目で100mを超え、24回目で1600mを超え、25回目で3300mを超え、あと1回折れば悠々と富士山を超えるのです。

勉強や部活動においても、少し勉強・練習したからといってすぐに結果が出るわけではありません。一定の時間をかけていくことで、成果が出るようになり、ある瞬間から飛躍的に成長できることがあります。そのためにも、継続した正しい学習や練習を続けていけば、遅れてではありますが、必ず成果が表れます。そんな習慣をつくるためにも、とても大切な成功法則があります。

家に帰ってから最初に座る場所で自分の人生が決まる!

成功法則とは、一部の人にしかできない特別なことではありません。あらゆる人が生まれながらに持っているものを使ってできる、単純なことなんです。あなたが帰宅後最初に座る場所を、自分の意思でコントロールする勇気があれば、あなたの夢は実現されたも同然です。「まずは自分を磨くための場所に座り、それを始めよう。それ以外のやりたいことはそのあとだ」と考える習慣をつければいいだけです。

『手紙屋』蛍雪篇~私の受験勉強を変えた十通の手紙~(喜多川 泰)

帰宅後、最初に座る場所・・・皆さんはどこですか。思い返してみれば、普段はあまり意識していないかもしれません。「まずテレビをつけて、ソファに座って休憩する」ことがクセになっている人がいたとします。これを「イスに座って机に向かう」に変えると、どうなるのでしょうか。5分でもよいです。「最初に座る場所」を意識してみてもいいでしょうか。